

第 41 号

発行 世田谷区町会総連合会
世田谷区若林 4-31-9
ポライト第2ビル202
☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 齋藤重男
編集 情報誌編集委員会
編集委員長 横山昭夫

せたがや 町総連だより

笑顔がつながる地域社会に関するシンポジウム

世田谷区は、町会・自治会やNPOなど、地域で活動する様々な団体が互いに連携し、地域の課題に取り組みながら、地域の絆を強化していくことで、豊かなコミュニティ活動の発展と住民自治の推進を目指しています。

そこで、今後の地域活動のあり方や、多くの区民に地域活動に参画してもらう

方策等について、意見交換を行いながら考える機会を設ける場として、昨年の12月13日に、三茶しゃれなあどホールにて「笑顔がつながる地域社会に関するシンポジウム」が開催されました。

当日は、生涯学習まちづくりの仕掛け人として知られる聖徳大学名誉教授の福留 強先生に、地域の活性化に取り組んでいる全国各地の町会の事例を紹介していたいただきました。これまでに学んできたこと、体験してきたことを地域に活かすことが大切であり、年をとっても実年齢より若い気持ちで生きがいのある人生を送



ることが大切というお話をいただきました。

その後は、若林町会の根岸 茂会長、NPO法人せたがやオルタナティブハウジングサポート代表理事の井上 文さん、それに保坂展人区長も交えてのパネルディスカッションが行われました。

根岸会長からは、若林町会が行っている盆踊り大会

笑顔がつながる
地域社会に関するシンポジウム



根岸会長からは、若林町会が行っている盆踊り大会

根岸会長からは、若林町会が行っている盆踊り大会

目次

笑顔がつながる地域社会に関するシンポジウム	1
地域情報	
北沢地域 微笑みと安心の町を目指して	2
玉川地域 歴史ある用賀町会の5年先ビジョンは!!	3
砧地域 世界文化遺産 富岡製糸場と防災活動	4
烏山地域 先人へ感謝	5
世田谷地域 下馬新生自治会の現状報告	7

町総連ニュース	8
編集後記	8

世田谷区町会総連合会のホームページ

※QRコード

世田谷区町会 検索



バーコードの一種で、携帯電話で撮影して、簡単にホームページを見ることができます。

やラジオ体操、敬老会などの活動内容の発表や、町会活動への参加の呼びかけ、町会を活性化するための人材育成などについてのお話をいただきました。

井上さんからは、ご自身のNPOの取り組みである住まい・まちづくりの活動を通して、地域コミュニティの場づくりをしてきた経験を紹介していただき、区長からは、單身世帯や高齢者世帯が増えているため、会話や相談ができ、いざという時に助け合えるコミュニティをつくっていくことが大切だというお話しをいただきました。

当日は、100名を越える人が講演やパネリストのやり取りに熱心に耳を傾けていました。

このシンポジウムでの貴重なお話を今後の活動に活かし、町会・自治会を今以上に活性化していくことを共に考えていきたいと感じました。



地域情報

北沢地域

微笑みと安心の町を目指して

守山町会 会長 西川 進

私達が生活をしている守山町会は下北沢の西北に位置し、下北沢駅から徒歩2分から10分位の静かな丘陵地にある緑豊かな町並です。町会の誕生は意外と古く、昭和6年です。小さな守山丘陵へ昭和の始めに

地下鉄線の建設で出たトンネルの残土を旧井の頭電車を使って運び、トロッコで山、谷を埋め立てた跡地を住宅地として開発したところが大分です。現在でも一部に急坂、昔の小川を暗渠にした名残りの道筋などがあります。このよう

な生い立ちから町中には神社や仏閣などは無く、公園も一ヶ所で学校はバレーで日本一になった下北沢成徳高等学校があるのみです。住民の方々の

大部分は戦前の分譲地の内約300世帯の町会員が土地柄から大きな道路も無いので大変静かで穏やかな環境の中で生活を営んでいます。

さて、町会としては今のところ特に大きな問題は無いのですが、やはり他の町会と同じ様に内部的には町会活動の中心を担って頂いている役員の方々の高齢化とその補充が難しく、将来

的に町会の発展や活動に支でも重要な課題ですが、当町会でも重要な課題と捉え、少しずつですが、総合的に進めている現在で、地形的には大部分が高台で海拔40メートル前後で今の所、水の被害は集中豪雨時以外あまり心配は無いのですが造成地部分もあるため、直下型地震発生時の地崩れ、倒壊、火災発生を大変心配しています。

現在の区域内の住居の建築年代を見ますとかなり建替が進み、新しい家屋が増え災害発生時に心配される1980年以前の家屋の残存率は全体の約3%と少なくなっています。町会としては出来るだけ新しい基準による不燃化住宅の促進に行政と協力して工事現場等への便宜を計る事にしています。また、学校や行政機関と協力して子ども達の登下校時の安全見守りや高齢者への積極的な声かけを実施しています。更に特定の町会役員による昼夜を通しての町内見廻りによる防犯防火対策を行って日常の町会員が安心して健康的な生活が送れる様バックアップ体制の充実も図っています。

このような町会の地道な活動を通して大きな行事は仲々実施が出来ないなかですが町会員同志が日常の何げない生活の中で、町角でたまたまお会いした時にお互いが微笑みながら「こんにちは！お元気ですか」と声を掛け合い安全・安心の生活が確かめ合えるような余裕のある暖かい町会を目指して、私達は頑張っている今日この頃です。

玉川地域

歴史ある用賀町会の5年先ビジョンは!!

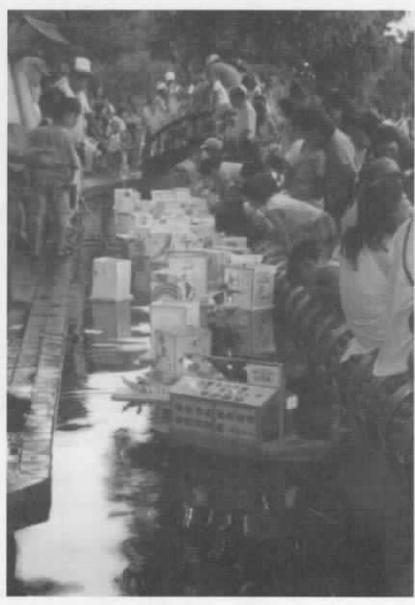
用賀町会 会長 鎌田嘉次

安全で安心なまち

づくりをめざして

用賀町会は、旧玉川村が昭和7年10月に世田谷区に編入された翌年の7月に発足しました。昭和22年4月、用賀自治会と改称しましたが、46年9月1日の用賀3・4丁目と玉川台2丁目住居表示実施に伴い両地域分立の機運が熟し、昭和47年6月に用賀町会と上用賀町会に分立して、現在の用賀町会と称するようになりました。今年で82年を迎えました。

昭和52年4月に新玉川線が開通し、現在は東急SBSビルが駅ビルとして聳え立っています。我が用賀町会エリアには、昭和の時代の街を築き上げた用賀商店街があり、平成元年新たに法人化し振興組合とし



納涼の夕べ風景

てスタートしました。現在は275店舗が加盟しており、街の発展に寄与して、災害、防犯カメラの設置・

砧地域

世界文化遺産 富岡製糸場と防災活動

祖師谷第四自治会 会長 矢島光正

AEDの設置の充実が必要
と思われます。

町会行事では、毎年、
春・秋、会員を対象にバス
見学を企画・実施し、5月
には京西小学校の児童と
もにごみゼロデーと称して
町内の清掃活動を行って
います。夏の季節には盆踊り
と、町会独自の催しとし
て世田谷美術館に通じるい
らか道にて納涼の夕べ、子
ども映画会を行っていま
す。秋には用賀駅コンコー

スにて用賀中学
校の吹奏楽による
青空コンサートを
盛大に行っていま
す。町の防犯では
歳末警戒を含めパ
トロールを年間を
通じて行い、防災
ではポンプ操法・
スタンドパイプの
訓練を実施、交通
安全では秋に親と
子での自転車運転
シミュレーター利



青空コンサート

用、自転車安全運転、歩行
者実技教室を行います。

まちの将来像（ビジョン）

「緑の多い、支えあい・助
け合いのある心豊かで安全
なまちをめざして」

青少年育成事業を通じ
て、幅広い世代の交流を図
り、その輪を広げていくと
ともに、災害発生時に住民
が自主的に活動していくた
めの整備や、あんしんすこ
やかセンターと連携して安

心して住み続けられるまち
づくりを行います。

上用賀町会、上用賀南町

会、上用賀町の境界を外し
て、点から線・線から面と
捉え、災害支援対策として
「ネットワークづくり」を

用賀三町会、力を合わせて
行い、自主型の非難所運営
の確立と用賀中学校医療救
護所の内容充実を重点目標
として行っていきたくと思
います。

先日町内旅行会で富岡製

糸場へ行って来ました。

当工場は明治5年、我国
最初の官営模範製糸場とし
て、明治政府の依頼でフラ
ンス人ブリュナが指導し建

てられました。

木骨と赤レンガの建物群

は当時のままの姿で保存さ
れており、日本近代化産業
発生の地として貴重な建造
物です。

私たちは、テレビで発展

途上国の様子を見ますが電

気、ガス、水道等のインフ
ラ整備の遅れを目にします。
大河ドラマ「花燃ゆ」の
吉田松陰にみられる命がけ

の明治維新という革命、司
馬遼太郎の「坂の上の雲」
等々から西欧に追いつけ追
い越せの熱意が近代国家を
作り上げ今日先進国の仲間
入りをしています。

ここまではどなたもご存

じのところですが、今回の
富岡製糸場を見学して私は
この思いを強く感じました。
翻って自分の町内を歩き

平穏な町が一瞬の大地震で
崩壊することは想像するだ
けでも恐ろしいことです。

我が町会では、災害時

のために消火機等の常備防
災資機材の他に、昨年度ト
ランシーバーを導入しまし

た。災害発生時、電話不通
を想定し出火、倒壊、けが
人、病人等々に対処出来る
有志協力者が連絡を取りあ



トランシーバーの活用

う必要を痛切に感じた次第です。

富岡製糸場の話から大分飛躍しましたが、私達が町を守ることは明治の先人の築いたこの国を次の世代に引継ぐことと考えると、大いに意義有りと存じます。一寸大風呂敷でしょうか？



悪品として問題でした。★製糸場がこの地に

作られた理由

製糸に必要な繭と良質な水、広い土地、石炭が確保出来たことです。

★活躍した工女の話

明治5年工女を募集しましたが、フランス人は生き血を採って飲むという噂が流れて募集が出来ませんでした。

初代場長は自分の娘を率先して入場させ、その後32

都道府県から集まり、進歩的な労働環境を導入しました。

★この工場が作られた理由 江戸末期から生糸は輸出され始められましたが、粗

多くの工女が技術習得後 故郷に戻り指導者として機

械製糸技術を広めました。

★設立に関わった

人々

☆フランス人

ポール・ブリュ

ナ他生糸検査人、

技術者練糸教師、

医師

☆日本人

渋沢 栄一

(当時大蔵官僚)

荏塚直次郎

(建築に貢献)

尾高 敦忠

(地元の名士で

栄一の従兄)



富岡製糸場見学

※記事の出版

「富岡製糸場と

深谷の偉人たち」

烏山地域

先人へ感謝

八幡山町会 会長 島田 益吉

町会です。

町の歴史は、古くは縄

文時代(紀元前300年以

前)から人の住んだ形跡が

あり、八幡山2丁目烏山川

に面した台地上に縄文中期の

集落跡と江戸前期の炭焼窯が

複合して発見されました。

7つの住居跡から連弧

文土器や石器類が出土し、

隅丸方形、円形、埋甕炉、

石囲炉があり狩猟、採集生

八幡山町会(1663

会と接し、西は粕谷町会、南は船橋町会、北は細長い

地形の先の部分が杉並区の上高井戸町会と接する小さな

活跡が見られる縄文中期集落跡があったと思われま

大正9年の第1回国勢調査では、八幡山町会の住民は24世帯、154人でした。平成27年4月現在では、4322世帯、7911人の方が住んでいます。

昭和25年に「八幡山町会」発足、初代会長、花里孝夫氏就任。昭和29年に第2代、島田正敏氏。昭和37年に第3代、佐久間慶次郎氏。昭和43年に第4代、中間末太郎氏。昭和53年に第5代、嘉村祐一氏。昭和61年第6代、堀江貞夫氏。平成6年に第7代、長島清一氏。平成26年に第8代として島田益吉がお受けすることになりました。微力ながら多くの方々のご支援があり、日夜地域社会に貢献出来るように活動等を行っています。

八幡山町会内には、八幡山八幡社(第3回のせたが

や地域風景資産)があり、その境内で、地域の方々

と世代を超えて親睦を図る「納涼まつり」を8月最後の土曜日に開催しています。そして9月22日は八幡社の例大祭があり、神輿・山車・太鼓等町内の無病息災を願う八幡山地区を一日練り歩きます。

また、町内にあります夢のみずうみ村新樹苑で3月に「もちつき大会」を7月最後の土曜日に「盆踊り

大会」を八幡山町会、八幡山商店街八栄会、八幡山青年会、フリーエイト

クラブ、いづみ会の団体が実行委員会をたち上げ開催し、1500名位の方たちが参加し楽しんでいきます。八幡山町会には15の部会がありそれぞれ積極的に企画構成し活動を行なっています。そして賛助会員制度

(7団体)があり、その代表の方にも常任理事になつていただき、毎月8日に常

任理事会を開催し、情報を共有していま

す。町会の青少年部は、8月に八幡社境内に於いてラジオ体操を開催し、三世代の方々が汗を流し楽しい1日が始まります。

防災部は東日本大震災を機に毎月1回防災訓練を行い住民の防災意識向上に努めています。

環境部は、毎月第3日曜日に清潔できれいなまちづくりを推進するために清掃活動を行なっていますが、タバコの吸い殻が非常に多く、八幡山町内を路上禁煙地区に指定してほしいと常任理事会で提案され、世田谷区の環境計画と協議が始まりました。



もちつき大会

昨年(2014年)の2月は大雪に悩まされました。備えあれば憂いなしといわれますので、歩行者のために「除雪機」を購入しましたが本年は出番がありませんでした。これからも多くの方々

のご支援をいただき、『八幡山 小さな町に 大きな人の輪』の八幡山町会が安全、安心で暮らせるよう、共に繁栄を築きあげたいと思っております。ご指導ご協力をお願い申し上げます。



納涼まつり

下馬新生自治会の現状報告

下馬新生自治会 会長 山野井 崇 二

当自治会は役員21名(男性15名、女性6名)の陣容で活動しています。旧3丁目、4丁目で92番地あります。

盆踊りは駒繫神社の境内をお借りし、7月第3土日に実施し、下馬2丁目北町太鼓連の協力で、幼児から高齢者まで踊りを楽しんでいます。夏休みこどもラジオ体操会は、夏休み初日から8月10日まで実施していましたが、父母の要望で5日までに短縮し、参加賞として小中学生を対象に100人くらいに図書券や、区から支給のノートなどを配っています。

春・秋の交通安全運動、地域安全運動、パトロールはもちろんのこと小学生の見守り等を実施して活動しています。

12月の歳末警戒は消防団、消火隊の協力を得て、

10日頃から29日まで実施して、役員を入れて5人の編成で1時間以上の歩行で、拍子木を打ちながら「火の用心」と声をかけ合い、防犯活動も兼ねていて、たまに一般の方も参加し、にぎやかなパトロールになります。

私の小さい頃、この地域には学芸大学があり広大なグラウンドが遊び場であり、夏休みには十銭でプールで泳ぎを覚えていたり、夕方にはトンボの飛来して来たり、とても豊かな町並みを思い出します。

先人のお陰で区画整理が実施され(昭和17年1月完成)すばらしい町並みの自治会です。

当地の歴史としては、明治11年下馬引沢村となり、大正14年町制施行により駒

沢町下馬になりました。また、関東大震災を契機として自警団組織を受け継ぎ、町会が組織され官公署と連絡をするようになりました。

現在、自治会としては、いつ起きるか分からない災害に備えて、各役員・地区長・班長は要援護者の把握に努めています。

4月に行う「さくら祭り」は、天候に左右されますが、各商店会、日赤奉仕団、ボーイスカウト、少年野球父母会、法人会、その他の団体が参加し、焼きそば、焼き鳥、お餅などは行列ができ、ほかにフリーマーケット、防犯活動と盛りだくさんで終日にぎやか

です。

盆踊りは駒繫神社の境内をお借りし、7月第3土日に実施し、下馬2丁目北町太鼓連の協力で、幼児から高齢者まで踊りを楽しんでいます。夏休みこどもラジオ体操会は、夏休み初日から8月10日まで実施していましたが、父母の要望で5日までに短縮し、参加賞として小中学生を対象に100人くらいに図書券や、区から支給のノートなどを配っています。

春・秋の交通安全運動、地域安全運動、パトロールはもちろんのこと小学生の見守り等を実施して活動しています。

12月の歳末警戒は消防団、消火隊の協力を得て、

10日頃から29日まで実施して、役員を入れて5人の編成で1時間以上の歩行で、拍子木を打ちながら「火の用心」と声をかけ合い、防犯活動も兼ねていて、たまに一般の方も参加し、にぎやかなパトロールになります。

私の小さい頃、この地域には学芸大学があり広大なグラウンドが遊び場であり、夏休みには十銭でプールで泳ぎを覚えていたり、夕方にはトンボの飛来して来たり、とても豊かな町並みを思い出します。

先人のお陰で区画整理が実施され(昭和17年1月完成)すばらしい町並みの自治会です。

当地の歴史としては、明治11年下馬引沢村となり、大正14年町制施行により駒

沢町下馬になりました。また、関東大震災を契機として自警団組織を受け継ぎ、町会が組織され官公署と連絡をするようになりました。

現在、自治会としては、いつ起きるか分からない災害に備えて、各役員・地区長・班長は要援護者の把握に努めています。

4月に行う「さくら祭り」は、天候に左右されますが、各商店会、日赤奉仕団、ボーイスカウト、少年野球父母会、法人会、その他の団体が参加し、焼きそば、焼き鳥、お餅などは行列ができ、ほかにフリーマーケット、防犯活動と盛りだくさんで終日にぎやか

です。



さくら祭り



盆踊り風景

町総連ニュース

▼平成27年3月26日

町総連だより第41号の編集方針など

▼平成27年5月11日

町総連だより現行の確認読み合わせ

▼平成27年6月4日

町総連だより原稿の校正

表彰

▼平成27年6月18日

東京都町会連合会表彰

京王プラザホテルにおいて

中村 忠明 理事 (三軒茶屋町会)

池上 義正 常任理事 (弦巻町会)

穴戸 鉄男 理事 (松原3・4丁目自治会)

が受賞されました。

◎会長交代のおしらせ

平成27年5月31日現在

世田谷					地域
野沢3丁目町会	野沢2丁目町会	下馬1丁目町会	三軒茶屋町会	池尻団地自治会	町会・自治会名
亀井 歌子	上原 章子	佐藤 光信	杉江 敏治	野田 俊和	新会長・理事長
内海 勝治	金子 二郎	三村 節子	中村 忠明	風間 健二	前会長・理事長
				太田 紘一	
				山内 彰	

◎町総連情報誌編集委員会名簿

平成27年5月31日現在

役職名	氏名	所属
委員長	横山 昭夫	玉堤町会
副委員長	堀江 義之	九品仏自治会
委員	吉岡 靖之	若林町会
委員	鮎川 郁男	藤自治会
委員	飯塚 捷子	弦巻町会
委員	遠藤 幸一	豪徳寺二丁目町会
委員	根岸 久芳	大原北町会
委員	大塚 栄江	駒沢三丁目町会
委員	本橋 俊夫	成城団地自治会
委員	高橋 和夫	粕谷会
委員		烏山下町会

烏	山	砧	玉川	北	沢
烏山北住宅賃貸自治会	烏山中町会	大蔵東部町会	都営深沢アパート自治会	桜上水5丁目自治会	赤堤2丁目町会
時田 勝弘	伊藤 達哉	鎌田協和会	喜多見北部町会	深沢三友会	渡部 幸雄
深尾 忍	森 巖	法人格鎌田南睦会	法人格鎌田南睦会	都営深沢アパート自治会	真田 佳明
	佐相 震彦	大蔵東部町会	喜多見北部町会	深沢三友会	野島 勝啓
	本多 光子	烏山上町会	喜多見北部町会	深沢三友会	酒井 佳夫
		烏山中町会	喜多見北部町会	深沢三友会	浅見 宗一
		給田西住宅管理組合	喜多見北部町会	深沢三友会	谷岡 英夫
		コートヒルズ久我山自治会	喜多見北部町会	深沢三友会	長内 初江
		下山 鐵夫	喜多見北部町会	深沢三友会	岩戸 能英
		海老澤一良	喜多見北部町会	深沢三友会	脇 克仁
		杉田 武信	喜多見北部町会	深沢三友会	石井 輝美
		安藤 和雄	喜多見北部町会	深沢三友会	安藤 保
		橋本 武昭	喜多見北部町会	深沢三友会	古馬 一行
		藤本 秀雄	喜多見北部町会	深沢三友会	山下 鐵夫
		諸戸 孜行	喜多見北部町会	深沢三友会	佐相 震彦
		松本 昇	喜多見北部町会	深沢三友会	伊藤 達哉
		岩戸 能英	喜多見北部町会	深沢三友会	森 巖
		浅見 宗一	喜多見北部町会	深沢三友会	本多 光子
		酒井 佳夫	喜多見北部町会	深沢三友会	佐相 震彦
		松本 昇	喜多見北部町会	深沢三友会	伊藤 達哉
		野島 勝啓	喜多見北部町会	深沢三友会	森 巖
		松田 寛子	喜多見北部町会	深沢三友会	本多 光子
		淀川二美子	喜多見北部町会	深沢三友会	佐相 震彦

編集後記

この町総連だよりは、世田谷区に有る195の町会・自治会それぞれの様々な「生い立ち」・「活動」・「苦勞」・「思い」を知ることに由来する大変面白い情報誌です。

それなのに世田谷区町会連合会の役員名簿に載っている人と区民まつりに参加した一般の人にか配布されていません。是非、役員だけでなく、広く一般の会員にも読んでもらいたいと思います。

どの町でも出来るだけ大勢の人が町会・自治会の会員になり、知り合い・ふれあい・支えあえる町になつてもらいたいと思ひます。町会・自治会の活動をもっと大勢の人に知ってもらいたいのです。

この町総連だよりは、そのために大変役立ちます。近い将来、発行部数を増やし、回覧にして、一般の会員にも読んでもらいたいと思ひます。

編集委員長 横山 昭夫